

# 一般質問

## 古橋 智樹 議員

**Q** 下稻吉中生徒数から見た体育館面積と周辺小学校利用は供給不足

**A** 他中学校と教育環境の公平性は考慮が必要

**Q** 下稻吉中学校の現生徒数から見た体育館面積と周辺小学校の体育館や運動公園等を利用する現状は、まさしく供給不足。市内の他中学校体育館同等以上の面積が最低必要では。

**A 教育長** 霞ヶ浦中学校が1545㎡、千代田中学校が2115㎡に対し、980㎡と最も小さい施設となり、1人当たりの生徒が占める面積から、概ね霞ヶ浦中学校が3・8㎡、千代田中学校が13・1㎡に対し、下稻吉中学校は1・6㎡程度となっています。体育館の広さは、明確な面積要件がないことから、地域によって様々ですが、運動に親しめる学校づくりや活気あふれる部活動実施の観点から、他の中学校と教育環境の公平性は、考慮する必要がありますと考えます。

**Q** 家族が病気やけがに苦しむ姿を必死に渋滞の中でおおつ野の緊急センターに運びたい思いを国、上級庁に相談する。3月に病院が開くことから、神立駅前の渋滞を解消し、ライフラインを取りたいといったイメージを事務方に持たせて取組む指示をしたか。

**A 市長** かすみみがうら市は、どうしても横軸、東西線が弱い。なおさら鉄道で遮られている地域で、このアクセスは、大変大きな課題だと考えていて、前回提案された内容も、関係市町村と非公式ですが協議しながら今詰めています。

また、協同病院の開院は、我々行政界近くに来て大変心強い面も、神立との混雑を考えると指摘のように1日8000人という人々が、その病院を何らかの形で行き来する訳で大きな課題です。

### 質問事項

**1** 神立停車場線を祭り対応仕様に、神立の皆さんと一緒に教育環境の供給不足、下稻吉中体育館の新設を周辺住民を苦しめる国道6号の公害、深夜のトラック騒音・振動

**4** 未来の少数精鋭の子どもたちに幼児からの英会話の習慣と小学生から数学的な考え方を



▲新土浦協同病院

## 川村 成二 議員

**Q** 市街地の豪雨に対する雨水排水対策を

**A** 28年度から市街化区域内の雨水排水計画見直しのための調査を実施する

**Q** 市街化区域内の雨水排水計画の見直しのための調査とは具体的にどのようなものか。

**A 上下水道部長** 逆西排水区域の雨水排水計画は、昭和52年1月に開始されております。

しかし、近年の市街地の宅地化や全国的な短時間の集中豪雨の増加などにより、当時の計画が現状とかけ離れていることと、逆西排水区内で道路の冠水が多く発生していることから、道路台帳を使用し、徒歩による現地調査を行います。特に冠水したところを重点的に現地測量し、問題点の洗い出しと整備計画の見直しを行うための基礎資料づくりを行います。

**Q** 神立駅周辺は、隣接する土浦市と比べ見劣りする防犯環境の整備が地域の活力向上には不可欠である。

**A 総務部長** 当市の防犯対策としては、防犯連絡員協議会やセーフティマイタウンチームによる防犯キャンペーン活動のほか、行政区を中心とした防犯パトロール、青少年相談員などによる市内巡回などが行われています。

神立駅周辺は、環境が大きく変わることにより、犯罪も質、量ともに変化する可能性があり、今後の対策として、現組織の活動を広げる方法や、土浦市のまちはん組織の検討、また、土浦と連携し、まちばんの巡回拡大も考えられます。土浦市や土浦警察署とさらに連携を密にして、対策を講じてまいります。

### 質問事項

**1** 防災強化への取り組みについて  
(集中豪雨対策、学校統廃合による避難所のあり方、防災行政無線整備等)

**3/2** 神立駅周辺の防犯環境の整備について  
マイナンバー制度のリスク回避と制度浸透への取り組みについて



▲新神立駅イメージ図

**Q** 無料の連絡バスの運行の考えは

**A** 運営費用について、受益者負担が原則と考えます

**Q** 乗り合いタクシーは、常磐線をまたいでの利用の場合、神立駅での乗り換えが必要となる。無料で乗れる千代田庁舎と霞ヶ浦庁舎を結ぶ小型の連絡バスを運行してはどうか。

**A** 市長公室長 現在運行の市内循環型のデマンド型乗り合いタクシーは、運行エリアを霞ヶ浦地区・千代田地区のそれぞれの地域内に限っているため、地区をまたがったの移動については、神立駅での乗り換えのため、それぞれに料金がかかります。運行エリアを広範囲にすると、効率的な運行の確保が難しくなるため、区域内に限った運行設定をしております。

提案のありました連絡バスも交通手段の選択肢の1つと考えられますが、ルートについては、市民ニーズにかなうものでなければなりませんので検討を要します。また、運営については、受益者負担が原則であると考えます。

**Q** 生ごみの分別収集を検討できないか。

**A** 環境経済部長 生ごみの分別収集は、土浦市で今年度の4月より導入されました。報道によりますと、4月の家庭ごみが14%減ったとのことですが、生ごみの分別収集事業に約2億9700万円かかることと報じられました。生ごみの分別収集の実施には多額の経費が掛かることが懸念されます。

当市としては、生ごみの水切りによる水分の減量や段ボールコンポスト等による生ごみの減量を地域に普及していくことにより、生ごみの減量を推進することが大事であると考えます。

質問事項

**1** 千代田地区と霞ヶ浦地区を結ぶ無料連絡バス設置について

**432** ゴミの減量化に向けた取り組みについて  
当市の防災および災害対策について  
市民の健康寿命を伸ばす施策について



▲乗り合いタクシー

**Q** 6号国道バイパス着工に向けた具体的対策は

**A** 早期着工に向けた国への要望活動の実施に努めます

**Q** 6号国道バイパスの事業化、着工に向けての具体的対策は。

**A** 市長 国道6号バイパスについては、石岡市・小美玉市とともに「国道6号バイパス建設促進期成会」を構成しております。

また、今年度11月には国道6号が通過している18自治体で「茨城県国道6号整備促進協議会」を設置しました。

今後は、この2つの組織を活用し早期着工に向けた国への要望活動の実施に努めます。

**Q** 千代田大橋から県道牛渡馬場山土浦線への接続計画について。

**A** 市長 新土浦協同病院へのアクセス道路としての整備は大変重要であると認識致しております。

現在、具体的整備案はありませんが、担当レベルでは「石岡・かすみがうら河川広域道路整備促進協議会」において、道路整備計画構想案を作成することとしており、関係機関との緊密な連携を持ちまして、市内交通環境の円滑かつ安全確保に向けた整備を図ってまいりたいと考えています。

質問事項

**1** 交通体系を踏まえた道路整備について



▲千代田大橋

## 佐藤 文雄 議員

**Q** 国保税における子育て世帯の子どもへの均等割を軽減することができないか、伺う

**A** 応益という観点から課税の公平性に係る問題です。で、難しいと考える

**Q** 当市の国民健康保険税は所得250万円、自営業、4人家族、40代の夫婦、子ども2人の場合（固定資産税10万円）40万3100円で所得の16・1%にもなる。加えて当市の均等割は県内でも高く家族が多いほど負担が多くなっている。子育て世帯の子どもへの均等割を軽減することができないか。

**A** 市長 被保険者均等割のうち、子どもの均等割だけ引き下げることができないかについては、応益という観点から課税の公平性に係る問題ですので、難しいと考えます。

**Q** 中学校卒業までの子どもの医療費完全無料化へ、所得制限の撤廃について伺う。

**A** 市長 所得制限により医療福祉費の非該当となつていの方は、8月末現在で980名ほどおります。完全無料化には約3300万円の財源が必要となります。

本市においては、財政健全化を進めている中、当市単独での完全無料化は難しいと考えております。今後高校生世代までの医療費補助と所得制限を撤廃した県の医療福祉費制度に改正するよう県補助実現に向けて、継続して要望を続けていきます。

### 質問事項

- 1 歴史認識について
- 2 広域ごみ処理施設建設問題について
- 3 国民健康保険について
- 4 子育て支援について
- 5 自衛官募集について
- 6 水道事業について（ムダな水開発事業の中止を）



▲国保税パンフレット

## 中根 光男 議員

**Q** 高齢者の自立支援に対する今後の支援策について

**A** 平成29年度からの地域支援事業に向けて、制度の構築に取り組んでおります

**Q** 高齢者の自立支援の取り組み状況と今後の支援策について伺う。

**A** 市長 本市における高齢者の自立支援の取り組みは、生活支援と介護予防を目的とした地域支援事業を中核とした事業です。今後の高齢者の自立支援施策については、団塊の世代が75歳となる平成37年度を目標に今後の地域での医療・介護のあり方として、国が示した「地域包括ケアシステム」の構築に取り組みます。この「地域包括ケアシステム」の中核となるのが、本年4月改正の介護保険法で制度化された新たな地域支援事業です。

本市においても、平成29年度の事業実施に向けて制度の構築に取り組んでいるところであります。

**Q** 当市のイノシシ対策における電気柵の安全対策は。

**A** 環境経済部長 今年7月、他県において発生した鳥獣被害防止用電気柵の事故を受け、当市でも平成22年度鳥獣対策交付金で設置した電気柵を対象に安全状況調査を行い、問題がないことを確認しました。

また、8月には、イノシシ被害地区に対し、電気柵による感電事故防止を促すパンフレットを回覧しました。公共機関等にも事故防止ポスターを掲示しております。

今後も事故防止を促すよう努めます。

### 質問事項

- 1 救急車の適正利用について
- 2 イノシシ対策と電気柵の安全利用について
- 3 地域包括システムについて
- 4 若者の選挙投票率向上について
- 5 河川の整備について



▲電気柵

## 田谷 文子 議員

**Q** 女性活躍促進法における行動計画の策定について

**A** 平成28年4月1日までに行動計画を策定したい

**Q** 女性活躍促進法において定められている行動計画の策定について伺う。

**A** 総務部長 女性活躍促進法における特定事業主行動計画を定めるに当たり、12月1日に国の策定指針が告示されました。この策定指針では、採用した職員に占める女性職員の割合、男女の継続勤務年数の差異、超過勤務時間の状況、管理的地位にある職員に占める女性職員の割合、各役職段階に占める女性職員の割合等を把握し幅広い内容の行動計画の策定が期待されています。

このことを踏まえ、本市は平成28年4月1日までに行動計画を策定したいと考えております。

**Q** 千代田中地区4小学校統廃合計画と千代田中との連携について伺う。

**A** 教育長 児童生徒に対するよりよい教育環境を作るため、平成25年3月にかすみがうら市小中学校適正規模化実施計画を策定しました。

千代田中学校区の小学校では、現在も社会科見学や宿泊学習などで小学校同士の連携を図り、教育成果を上げる工夫に努めており、さらに、千代田中学校と小学校で連携した授業にも取り組んでいる状況です。

### 質問事項

**1** 義務教育学校の制度化に伴う本市の進むべき方向・計画について

**2** 千代田地区4小学校統廃合計画実施に伴う影響について広報活動の推進による市民に対する情報提供の円滑化について

**4** 女性の活躍促進法施行（H28・4・1）を踏まえた今後の行動計画について



▲千代田中学校

## 設楽 健夫 議員

**Q** 統合南小学校の放課後児童クラブの受け入れ態勢について

**A** 第一保育所の余裕教室等の活用で対応します

**Q** 統合南小学校の放課後児童クラブの受け入れ態勢について

**A** 保健福祉部長 第一保育所内の余裕教室3部屋を使用、児童保護者の出入りは園前のテラスから、トイレ等は廊下を利用し、入所児童への影響を及ぼさないよう配慮します。小学校からの移動通路はプールと保育所との間を通り、保育所フェンス出入口を利用、グラウンドは小学校の校庭を使用予定。送迎時駐車場は保育所駐車場を利用。南小学校のランチルームを利用する児童の保護者送迎時駐車場は、敷地内のバス駐車場の利用を考えており小学校と調整を行います。通路街灯は、日照等を確認し必要に応じて設置を考えます。ランチルームの整備は小学校との協議を行いながら進めている状況です。

**Q** 霞ヶ浦地区公民館の看板取外しとライフライン停止について

**A** 総務部長 電力や水道の維持をはじめ、施設の警備などの維持管理が必要であると考えております。ご理解をお願いいたします。

### 質問事項

**1** 市民の権利として、特別職政治倫理条例の制定を求めて地域福祉活動計画（社会福祉協議会）H26・3と地域ケアシステム推進事業について

**2** 公共施設の統廃合・使用料金値上げ、霞ヶ浦地区公民館閉鎖は千代田地区小学校統廃合まで一休止・モラトリアム、バランスある行政を求めます。

**4** 公共施設の効果的活用と適正な維持管理計画に関する調査研究報告 H26・3の検証と総合計画について一の再検討を求めたい

**5** 世界湖沼会議、団体、オリンピックへの市長の抱負と取り組み準備について（求められる漁協・JA、近隣市との共同の取り組み）



▲牛渡地区公民館

**Q** 波止めが水没している田伏地区における堤防の対策は

**A** 27年度に検討・設計、28年度以降整備を実施します

**Q** 堤防の波止めが水没している田伏地区の堤防の現状と今後の対策について伺う。

**A** 土木部長 霞ヶ浦の堤防管理は、国で整備した堤防のほか、水資源機構で整備した堤防があり、要望箇所は水資源機構の管理となっております。現在の堤防の状況は、計画堤防の高さは確保されてはいますが、護岸の高さが軟弱層による不同沈下により、おおむね80センチメートル低いとのこと。

対策としては、護岸平場部の高さを確保するため、ふとんかご等の設置や堤防法面部の連結ブロックの追加工事を行うとのこと。平成27年度は検討・設計の実施、平成28年度以降に順次整備を実施することとなります。

**Q** 下大津公民館の廃館と廃校後の学校跡地活用について

**A** 市長 公共施設のありかたについては、まちづくりや市民生活の視点で考えることを基本とし、今年度は地区公民館や小学校跡地など、地域的な施設のあり方を具体的にするためワークショップ方式により地域の皆さんによる話し合いを進めております。

このワークショップを通じまして、公共施設をきっかけとして地域づくりの仕組みを考えるなど、市民協働のまちづくりを推進する一つの機会となればと考えています。

質問事項

1 急傾斜地崩落危険箇所と水防の現状、今後の対策について

32 2 27年度に検討・設計、28年度以降整備を実施します

4 下大津公民館の廃館と廃校後の学校跡地活用について



▲下大津地区公民館

# 議員全体研修

10月29日・30日

10月29日に福岡県糸島市、30日には福岡県三潞郡大木町を訪問し、かすみがうら市議会議員全体研修を実施しました。

【視察地及び研修事項】

①福岡県糸島市

- 糸島市役所、福吉交流センター福ふくの里及びJA産直市場伊都彩々
- 6次産業化の推進について
  - ・九州大学と連携した農作物等の新商品の開発について
  - ・交流センターでの農漁業の活性化策について
  - ・地元産果樹等のブランド化への取り組みについて



▲糸島市役所にて



▲福吉交流センター 福ふくの里（糸島市）

②福岡県三潞郡大木町

- おおき循環センターくるるん及び道の駅おおき
- ごみの減量化とリサイクルについて
  - ・全町を挙げてのごみゼロ運動の推進
  - ・生ごみ・し尿・浄化槽汚泥を処理し、有機肥料へ
  - ・生ごみ分別事業での町民協働意識の向上



▲おおき循環センター くるるんにて



▲生ごみの回収作業車（大木町）